

【スプリングバレースキースクールコロナウイルス感染予防ガイドライン】

2020年11月20日

スプリングバレー仙台泉スキー場

スプリングバレースキースクール

真冬のスノースポーツは新鮮な空気の大自然で行われるものであり、これほど素晴らしい屋外活動は他に類を見ません。スプリングバレースキースクールにおいては本ガイドラインをベースに様々な対策を行うことで、お客様がより安心・安全に楽しめる環境を提供します。

<受付>

- ① 受付者はマスクを着用する。窓口にはアルコール消毒（手・指消毒）を設置する。
- ② 受付付近の飛沫予防対策を実施する。また、随時消毒（イス・机・筆記用具等）を行う。
- ③ お客様同士が一定の距離を保てるスペースを確保する。
- ④ 定期的な換気を行う。
- ⑤ 非接触型での精算を推奨する。
- ⑥ お客様の検温を行い健康状態の確認をする。37.5度以上の際は入校をお断りする。
- ⑦ 事前予約のお客様には、各人の健康確認のお願いと、当日発熱等がみられる場合は入校をご遠慮戴く場合があることを説明しておく。

<集合場所>

- ① 屋外・屋内を問わず、一定の距離を保てるスペースを確保する。

<レッスン>

- ① インストラクターはマスク着用もしくはネックウォーマーの類を口鼻まであげて着用する。
- ② お客様の立ち位置およびインストラクターの立ち位置は、状況に応じて、他の滑走者に対しての安全が確保されると思われる範囲で距離を保つ事を推奨する。
- ③ トレーンにおいては3m以上の間隔を保つ。
- ④ 初心者・初級者・子供へのレッスンにおいては、濃厚接触に対して更なる留意を行う。特に呼気を近づけない事に留意する。
また、共有する用具等については、留意事項を関係者と協議する。
- ⑤ 教育旅行等のグループレッソンは学校・主催者の意向に留意する。

<屋内でのミーティング>

- ① 三密を避ける環境で行う。その環境が準備できない場合は屋内では行わない。
- ② 教育旅行等においては、実施について学校・主催者の意向に留意する。

<リフト乗車>

- ① スプリングバレースキー場の索道部門が定めるガイドラインに準ずること。

<屋内休憩>

- ① マスク着用もしくはネックウォーマーの類を口鼻まであげて着用する。
- ② 互いの距離が保てる事を推奨する。

<インストラクターの滞在および健康管理>

- ① 施設内においては当施設内のガイドラインに準ずる事が前提ではあるが、スクール内は所属スタッフの健康管理および生活環境に十分留意する。
- ② 検温および健康チェックを毎日実施する。

<感染発症の際の対策>

- ① 発熱時の医療関係との連携を確認しておく。
- ② 発熱時の隔離体制を確認しておく。

※本ガイドラインは、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の「新型コロナウイルス(COVID-19)スマートライフのために」の情報などを参考に当スクールが作成しております。